



中丹高次脳機能障害者と家族の会

No133号 2021.12.28

“さくらの会”便り

発行責任者
会 長 山本静子
編集責任者
事務局 上原 栄
Tel.0773-22-7859

ーリラックスできて、はげまし合うところ、勇気を与えられるところー

高次脳機能障害 リハビリ学習会

仲間たちの支援で社会に

11月13日(土) 14時からのオンラインの高次脳機能障害リハビリテーション学習会は、実行委員会事務局足立晃平さんの進行で開催。

オンライン34名、里山ネット・綾部から12名、合計46名が参加しました。

第1部の講演では、中塚圭子先生から

「ピア(仲間)サポートを通して社会につながる！」をテーマに当事者の声に傾聴することの大切さ等、わかりやすく話されました。



第2部の個別相談会は、希望者がなく、ズーム画面を退出となりました。

参加者の声

勇と希望が湧いてくる

A・kさん

福知山での講習会に何回か計画したが、キャンセルが続いていた中塚先生の講習会が実現して喜び参加し、元気な顔とお声に出会えて嬉しかった。

先生は、いつも脳の構造の話は少なく、当事者やケアする家族のこころの中の悩みや苦しみ。生きづらさにどう対応し、生きていきにくい世の中をどのように生きていくのか、明日への夢と希望を持てる様な話が中心なので理解しやすいと思う。

コロナが治まれば早い時期に福知山に来ていただき、少人数で、個々の当事者や家族と膝を突き合わせたご指導を受けられる機会ができればいいな~と思っている。

私も八十代半ばになり人生の終活の時期を迎え、障害者の親の卒業をどのように考え、どうすれば良いのか、悩んでおり、ぜひ、ご指導を受けたく思っている一人です。

参加者の声

改めて学びました

T・Nさん

中塚先生が実際に経験されたお話を聴かせていただけましたので、あらためて障害特性を学ぶ上でとてもいい学習会でした。ありがとうございました。

新春交流会

令和4年の新春交流会は
2月27日(日) 予定しています。詳細は、
次号でお知らせします。



第25回損保 リハ・講習会 山里ネット 会からも報告

第25回損保リハ・講習会 山里ネット
に10名が参加

12月12日午後2時から5時まで、第
25回脳外傷・高次脳機能障害リハビリテー
ション講習会がオンラインで開催されまし
た。

さくらの会は、ZOOMができない方がス
クリーンを見ながら、会員が8名と会員外
2名の10名が参加しました。

第1部は、昭和病院長 佐柳進医師の講
演「高次脳機能障害 これからの社会に望
むこと」第2部は、脳損傷友の会コロポッ
クル役員 内田由貴子様から「北海道にお
ける高次脳機能障害支援 ～脳損傷友の会
コロポクルの取り組み～」

第3部は、家族会紹介。さくらの会から
「発足から現在の活動について」事務局か
ら報告をしました。



オンラインでする講演
を会場に集まって聞くこと
の難しさを感じた。



ハウリングを起こして内容が理解できず、
集中できなかった。時間設定も5時までは
長かった。参加人数もわからず物足りない
講演会となった。

お知らせ

市民向け講演会

【テーマ】：「高次脳機能障害に
ついて 地域を共に支えあうために」

～高次脳機能障害・認知症
・発達障害の捉え方～

【講師】：関西福祉科学大学
保健医療学部

本多伸行 先生

【日時】：令和4年1月29日（土）
13：30～15：30

受付13：00～

【対象】：高次脳機能障害の方の
地域生活について関心のある方
障害のある方とのコミュニケー
ションについて関心のある方

【場所】：あやべ・日東精工
アリーナ 研修室

【主催】：綾部市



【雑感】

▼コロナで対面の
交流ができなくなっ
て2年近くたちま
した。コロナも少
し落ち着き、最近
は、友達と出会っ
て食事したり、出
会って話すことも
多くなりました。
聞いてほしいこと
ばかり、次々と出
てくる。鬱々となっ
ていたことがよく
わかりました。
家に帰ってると、
少し心が軽くなっ
ていることに気づ
きます。
▼さくらの会の家
族交流会も皆さん
集まって、近況報
告のおしゃべりが
できればいいなと
思っています。